

(様式1-表)

## 令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	38	豊田市立 朝日小学校	代表	柴田みどり
------	----	------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テ ー マ	よりよく生きようとする姿を大切にし合える子の育成	分野	i	その他
	サブテーマ 互いの人権を大切にした人間関係づくりを中心にして	(その他)は分野を右欄に記入	人権教育	
学校 づ く り の 視 点 （ ね ら い ）	<p>1 地域のグローバル化による心を育み合う教育            ① 心の教育（=人権教育）の重要性            ② 地域の人々の声を受け止めること            ③ 保護者との連携の必要性            との思いから、「特色ある学校づくり」の中核を、            ◆ 地域・保護者とともに心を育み合う事業と考えた。</p> <p>2 事業を柱とした「心の育成=人権教育」            ① 異年齢集団とかかわる            ② 地域・保護者と連携・協力する            ことを手立てとして、以下のように計画を立てた。</p>			
活動 内 容 ・ 計 画	<p>1 子どもたちの人権意識を育てるための環境づくりを進める。            ① 朝日っ子活動（縦割り班活動） ② 人権週間</p> <p>2 地域の人材・教育力を生かした各種行事を行う。            ① 読み語り ② 図書館利用・本の貸し出しキャンペーン ③ 食育 ④ 昔遊び ⑤ 町たんけん ⑥ 大豆から学ぶ            ⑦ 宮大工から学ぶ</p> <p>3 互いに助け合い、他者を尊重し、思いやりをもって接する活動を進める。            ①朝日っ子活動(縦割り班活動) ②地域講師との交流</p> <p>4 健全な心身を育むための支援を行う            ① 道徳教育の充実 ② 心の相談員と連携しての支援 ③ 学生ボランティアの活用</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4～5月 = 人権的な環境整備の要望を集約（校内整備員・地域学校共働本部との打ち合わせ）            食に関する指導の全体計画の作成 道徳教育の年間計画案の作成            図書館整備と読み語りの計画案の作成 交流先・地域講師との打ち合わせ 朝日っ子活動の計画案の作成            心の相談員との連携計画案の作成</li> <li>・ 5月～ = 計画に沿っての整備と活動            (図書ボランティアによる図書館整備・読み語り、総合的な学習の時間・生活科における地域講師の活用)</li> <li>・ 12月 = 人権週間</li> <li>・ 2月 = 成果と課題の検討</li> </ul>			
補 助 員 配 置	校内整備員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備された潤いのある環境で子どもたちが生活することにより、心を豊かにすることができます。</li> <li>・ 校務主任が担う屋内外の校内整備・修繕を依頼することにより、校務主任が児童の教育活動に直結する業務により専念できる。</li> </ul>			
実 績 ・ 期 待 さ れ る 効 果	<p>1 保護者・地域への情報発信            【実績】・学校だより「あさひの窓」（隔週発行）で、本事業にかかわる内容を紹介している。            【実績】・学年だよりやホームページで、各学年の取組の様子を随時紹介している。</p> <p>2 心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな「朝日っ子」の育成            【実績】・読書に親しみ、図書館に来館する児童が多く、読み語りを心待ちにしている。            【期待効果】・障がい者や高齢者への理解が進み、自然に接することができるようになる。            【期待効果】・食に関する指導で学んだことを、給食の時間や家庭で生かせるようになる。            【期待効果】・美しく整備された学校で学ぶことにより、健全な心身を育むことができる。            【期待効果】・心の相談員との連携を充実することにより、問題等の早期発見、対応が可能になり、児童が明るく元気に生活することができる。</p>			
検 証 方 法	<p>1 外部評価、学校運営協議会、P T A 役員会・運営委員会から、保護者・地域の意見を集約する。</p> <p>2 児童あのねアンケート、教育相談「あのねタイム」により、児童の思いを受け止める。</p> <p>3 指導をいたいた地域講師の方々の感想・意見を、次回の活動に生かす。</p> <p>4 実際に指導に携わっている教職員の意見を交換し合い、成果と課題を共有する。</p>			